

2025年12月期 事業進捗説明会

2025年11月27日



アサヒグループホールディングス株式会社



◆ 第3四半期までの状況

- 9月29日以降のシステム障害により、2025年12月期の第3四半期決算および通期決算発表を延期
- システム障害の影響がない欧州やアジアパシフィックにおいては、売上収益は想定を下回るが、事業利益は計画ラインの進捗
- 日本・東アジアにおいては、9月末分の影響を確定できないものの、1-8月累計の売上収益および事業利益は、ほぼ計画ラインの進捗

◆ 今後の業績見通し

- 欧州やアジアパシフィックでは、通期の売上収益は計画を下回る可能性があるが、事業利益は収益構造改革の推進などにより計画の達成を目指す
- 日本・東アジアでは、10月以降の売上収益や事業利益は計画を大幅に下回る見込みだが、日本の各種システムおよび各事業の出荷数量は徐々に回復してきており、早期に受注・出荷体制の正常化を目指す
- 本システム障害により2025年通期の連結業績は悪化するが、「中長期経営方針」を変更することはなく、事業ポートフォリオの強靱化や資本効率向上に向けた施策を着実に実行する

(百万ユーロ)	Q3累計	増減	前年比(%)	2025年 通期予想	増減	前年比(%)
売上収益	3,516	△ 109	△ 3.0%	4,564	△ 31	△ 0.7%
事業利益	-	-	-	652	20	3.2%
酒税抜き売上収益	2,908	△ 106	△ 3.5%	3,753	△ 56	△ 1.5%

※ 現地通貨のユーロ換算に伴う為替影響を除く
 ※ 前年比は前年レート比較、予想比は予想レート比較

<ビール+ビールテイスト飲料カテゴリー Q3累計実績 (前年比) >

販売数量	売上収益	単価上昇率 (酒税抜き)
△3.9%	△2.8%	+1.2%

<グローバルブランド販売数量 Q3累計実績 (概算・前年比) >

Asahi Super Dry	Peroni Nastro Azzurro
+13%程度	+5%程度

※ 母国市場を除く販売数量ベース
 ※ 欧州以外の販売実績を含む

<売上収益>

- 主に消費環境が低迷しているポーランドや天候不順の影響を受けたチェコが前年を下回り、前年比△3.0%
- UKなどは好調に推移したが、天候不順が続いたポーランドやチェコの数量減などにより、トータルでは計画を下回る進捗

<事業利益>

- 販売数量は減少したが、収益構造改革の推進などによる変動費・固定費の効率化により、計画ラインの進捗
- 通期予想に変更はなく、前年比+3.2%の達成を目指す

(百万豪ドル)	Q3累計	増減	前年比(%)	2025年 通期予想	増減	前年比(%)
売上収益	5,599	167	3.1%	8,168	344	4.4%
事業利益	-	-	-	1,114	25	2.3%
酒税抜き売上収益	3,850	53	1.4%	5,669	245	4.5%
オセアニア合計	3,307	3	0.1%	4,930	189	4.0%
(酒類)	2,128	△ 29	△ 1.4%	3,220	87	2.8%
(飲料)	1,179	32	2.8%	1,710	100	6.2%

※酒税抜き売上収益は、豪州とNZにおけるコンテナデポジット（保証金）を除く

<オセアニア：ビール+ビールテイスト飲料カテゴリー Q3累計実績（前年比）>

販売数量	売上収益	単価上昇率 (酒税抜き)
△1.4%	△1.7%	△0.3%

<売上収益>

- オセアニア酒類は減収だが、オセアニアや東南アジアの飲料が前年を上回ったことなどにより、前年比+ 3.1%
- オセアニア市場の需要回復が想定より遅れたため、計画を若干下回る進捗

<事業利益>

- 酒類・飲料のミックス改善や、変動費を中心にコスト全般の効率化を推進したことなどにより、計画ラインの進捗
- 通期予想に変更はなく、前年比+2.3%の達成を目指す

● 商品出荷の状況

	10月 出荷状況 (概算の金額前年比)	出荷再開した商品	今後の見通し
酒類	△1桁台半ば	<ul style="list-style-type: none"> 『スーパードライ』などのビール類を中心に出荷 ビール類以外のカテゴリーは、主力ブランドを中心に 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出荷品種を順次拡大
飲料	△4割程度	<ul style="list-style-type: none"> 『三ツ矢』『ウィルキンソン』『カルピス』などの主力ブランドの中から商品を絞り込み出荷 	
食品	△2割台半ば	<ul style="list-style-type: none"> 粉ミルクやベビーフードなど社会的ニーズが高いカテゴリーを優先的に出荷 	

※詳細は「[2025年10月アサヒグループ販売動向（概況）](#)」をご参照下さい。

● 今後の取り組み

- 12月より従来のElectronic Ordering Systemでの受発注を再開
- 2026年2月までに段階的にリードタイムの制約を解消し、物流の正常化を目指す（一部SKUの出荷制限は継続）
- システム全体の堅牢性向上、セキュリティー監視の仕組み見直し、万が一に備えた事業継続計画の再設計



本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。